

ねんりんピック富山2018 高島市から5人が参加

11月3日(土)から6日(火)まで富山県で開催された、「第31回全国健康福祉祭とやま大会」(ねんりんピック富山2018)に5人の選手が出場されました。ねんりんピックは、高齢者が主役となって交流を深めながらスポーツや文化を楽しむ、健康と福祉の総合的な祭典です。

選手は各競技でご活躍され、中でもボウリングで出場された中川みち子さんは個人戦女性の部で準優勝されました。(長寿介護課)



笑顔で準優勝の報告をされる中川さん

- | | | |
|-------------------------|----|------------------|
| 高見 汎生さん
(ラグビーフットボール) | 市長 | 小宮 長茂さん
(卓球) |
| 中川 みち子さん
(ボウリング) | | 志村 サト江さん
(卓球) |
| | | 柴田 豊一さん
(卓球) |

TWINKLE STARS・A キラキラ笑顔で グッドスマイル賞に輝く!

11月10日(土)にエディオンアリーナ大阪で行われた、第8回子どもチアリーディング大阪大会において、NPO法人高島倶楽部 TWINKLE STARS・A

の皆さんがエキシビジョン ジュニアスターの部で見事グッドスマイル賞に輝かれました。(市民スポーツ課)



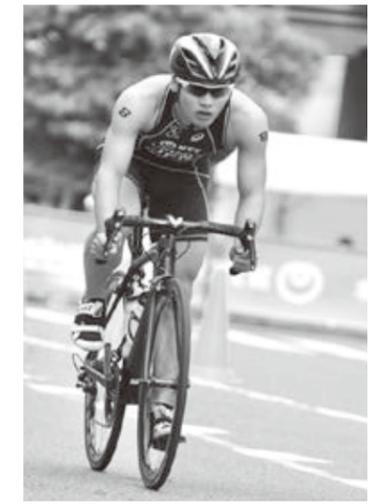
- 小川 惺菜(小6) 北野 あゆみ(中1) 古谷 春菜(小6) 上原 美空(中3) 野崎 一葉(小6) 斧田ラスmana朱理(小6) 本庄 優歩(中3) 赤尾 歩星(小6) 足立 芽生(小5) 栗津 花菜(中3) 中西 紗菜(小6) 石倉 采果(小5) 駒井 いろは(中3) 土井 花憧(小6) 谷口 陽彩(小5) 足立 花菜(中2) 中村 ひめの(小6) 斧田 絢風デウィ(小2) 赤崎 梨亜(中1) 早藤 美空(小6) 八田 羽依桜(中1) 日置 咲花(小6) ※敬称略

トライアスロンの内田さん 日本選手権で大活躍!

10月14日(日)に東京都お台場海浜公園周辺で行われた、第24回日本トライアスロン選手権において、高島在住の内田弦大さん(関西大学)が見事9位の成績を収められました。(市民スポーツ課)



内田選手は8番



少林寺拳法の北村さん 仲間と最優秀賞に輝く!

11月4日(日)に日本武道館で行われた、第52回少林寺拳法全日本学生大会において、安曇川在住の北村真彩さん(同志社大学)が女子団体の部で大学の仲間とともに見事最優秀賞に輝かれました。(市民スポーツ課)



笑顔で記念撮影

今津中学出身の前川さん 全国高校サッカーに出場!

11月17日(土)に行われた、第97回全国高校サッカー選手権滋賀大会において、今津中学校出身の前川慶輔さんが所属する草津東高校が見事優勝に輝き、第97回全国高校サッカー選手権大会に出場される予定です。

初戦は1月2日(水)にニッパツ三ツ沢球技場で行われ、活躍が期待されます。(市民スポーツ課)



グラウンド・ゴルフ チャンピオン大会入賞!

11月14日(水)に健康の森梅ノ子運動公園芝特設コースで行われた、第14回高島市グラウンド・ゴルフチャンピオン大会において次の方々が優秀な成績を収められました。(市民スポーツ課)



準優勝 遠藤 清太郎(新旭) 優勝 高田 金成(今津) 第3位 米村 登志子(安曇川)

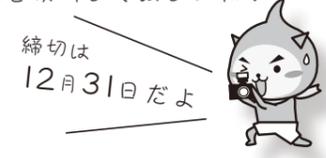
※敬称略

熱気球と朝日



今回は熱気球からスタート！

今回は「熱気球琵琶湖横断大会」とキャンペーンのスタートが重なっていたので、熱気球の写真がたくさん投稿されました。(たかPからひと言) 横断は中止になったけど、朝日と琵琶湖と熱気球の組み合わせは、贅沢すぎる絶景だね！今年こそは琵琶湖を横断してほしいね！



instagram による「#タカシマノアサヒ」今年も開催しました！

市内には、きれいな朝日を見ることのできるスポットがたくさんあり、12月を「絶景のたかしまの朝日」をPRする月間として、インスタグラムを活用したキャンペーンを実施しました。(企画広報課)

びわ湖と朝日



やっぱりびわ湖と朝日は最高！

(たかPからひと言) びわ湖に光の帯が映る朝日は何度見ても感動だね！キミだけの絶景ポイントをもっと教えてほしいな。

中江藤樹先生の縁。代理受付を行った寄付金を大洲市にお届けしました

7月豪雨による災害支援として高島市で代理受付を行った、愛媛県大洲市への寄付金(9,938,300円)を11月27日(火)にお届けしました。当日は、市の職員が大洲市役所を訪問し、目録をお届けするとともに、ご寄付いただいた皆さんからお寄せいただいたメッセージも一緒にお届けしました。大洲市とは友好交流都市として、今後も交流を深めていきます。(総合戦略課)



台湾の小・中学生が修学旅行でビワイチ体験！

台湾の小・中学生(森優生態実験教育学校)10人が11月12日(月)から16日(金)まで滋賀県へ修学旅行に生まれ、その行程の中で米原駅から近江舞子までビワイチを体験されました。高島市内は15日(木)に走行され、メタセコイア並木やピクランドなどに立ち寄ったほか、マキノ中学校と交流の機会が設けられました。(観光振興課)



マキノ中学生との交流を終え、近江白浜へ向け再出発！



有限会社宝牧場が農林水産大臣賞を受賞！

11月8日(木)に山形県で開催された第21回全国農業者担い手サミットにおいて、有限会社宝牧場が、全国優良経営体表彰(6次産業化部門)で農林水産大臣賞を受賞されました。全国優良経営体表彰では、滋賀県で初めての受賞です。11月28日(水)には、市長に報告するため、市役所を訪問されました。



レストランの前でスタッフそろって記念撮影

同社は、肉用牛(肥育、繁殖)、酪農(経産牛)、養豚のほか、ソフトクリームやパンの製造販売、焼き肉レストラン、精肉販売を担うグループ会社との一体的な経営により、6次産業化の取り組みを展開されています。(農業政策課)



市長に報告する田原社長



不器用なお子さんへの理解と対応「いるか学習会」開催

11月21日(水)に、安曇川公民館で開催しました。この学習会は、発達障害について関心のある保護者や支援者・関係機関の方を対象にしており、第2回目は、滋賀県総合教育センター甲津 千秋さんに講演いただきました。保護者の方からは、「利き手ではない方の手で迷路をやってみる体験で、せかされてやる気持ちがありました。」「子どもも不器用でもたつく事が多いですが、せかさず見守ろうと思いました。」などのご意見・感想がありました。

今後の予定として、2月23日(土)に「小・中学校の特別支援教育について」と題し、学校教育課の三宅指導主事がお話しします。(健康推進課)



熱心に話を聞く受講生

～高島市青少年育成大会～ 自然で遊ぼう！！

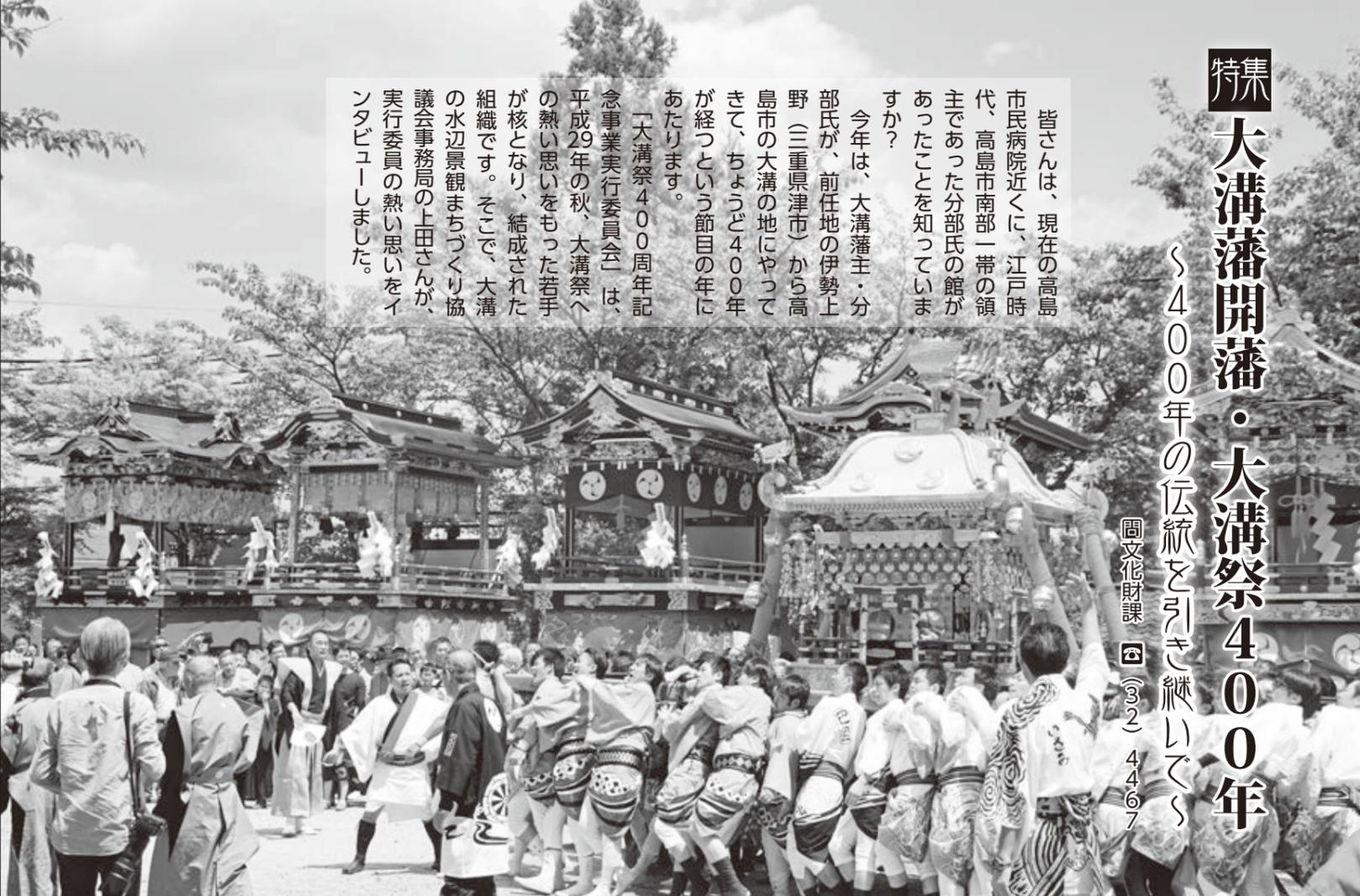
11月18日(日)にガリバーホールで開催しました。当日は、約200人の参加があり、中学生の意見発表では、市内6中学校の代表がさまざまな思いを熱く語りました。続いて自然体験活動「よえもん道場」10年を記念して、これまでの歩みと参加児童や修了生の発表があり、講演では、びわこ成蹊スポーツ大学の中野副学長から自然体験の必要性をお話いただきました。自然から学ぶべき「生きる力」の大切さと、よえもん道場の活動で子どもたちが成長していることを知っていただく大会となりました。(高島市青少年育成市民会議)



特集 大溝藩開藩・大溝祭400年

〜400年の伝承を引き継いで〜

図文化財課 ④(32) 4467



皆さんは、現在の高島市民病院近くに、江戸時代、高島市南部一帯の領主であった分部氏の館があったことを知っていますか？

今年、大溝藩主・分部氏が、前任地の伊勢上野(三重県津市)から高島市の大溝の地に移ってきて、ちょうど400年が経つという節目の年にあたります。

「大溝祭400周年記念事業実行委員会」は、平成29年の秋、大溝祭への熱い思いをもった若手が核となり、結成された組織です。そこで、大溝の水辺景観まちづくり協議会事務局の上田さんが、実行委員の熱い思いをインタビューしました。

次の100年につなぐための3つの柱

上田 予定されている主な記念事業内容について、教えてください。ただですか？

石倉 400周年の記念事業として、3つの柱―「伝統文化の継承事業」、「記念事業」、「昔の賑わいを取り戻す事業」―を立ち上げました。まず「伝統文化の継承事業」では、今の大溝祭をデジタルで記録に残すためのDVD作成を予定しています。

垣貫 「記念事業」としては、オリジナル木札や手ぬぐいの作成、さらに400周年限定の日本酒や二万石まんじゅうも地元元の商店の協力を得て、販売できる予定です。また、曳山の曳き手ボランティアに着ていただく法被も企画中です。

林邦茂 「昔の賑わいを取り戻す事業」では甲賀市の「水口岡山城の会」からお城パルーンをお借りして設置します。水口岡山城は、大溝城の天守が解体された後、その部材の一部を再利用して築城した

と伝えられていて、大溝とは大変ゆかりのあるお城です。5月3日、4日に登場する予定です。

石倉 また、日吉神社の境内と大溝陣屋総門前には、祭りを見学するための棧敷席を設置します。

上田 ところで、メンバーの山田さんは、400年目の大溝祭で「宰領(神輿渡御の総責任者)」という大きな役を担われるそうですね。どんなお気持ちですか？

山田 心地よいプレッシャーがあります。あと、宰領は当日は神輿渡御についていくので、曳山を曳く皆とは離れてしまいますが、頑張ります。

上田 最後に一言お願いします！

400周年の幕開けに

田中 この400周年をきっかけに、大溝祭だけでなく、大溝の良いところを、多くの皆さんに知ってもらいたいと思っています。われわれ地元住民は、この機会に大溝祭の歴史や価値を再認識し、地域への誇りや愛着心を高めていかなければ、と思っています。皆さん、ぜひ見に来てくださーい！

上田 まずは実行委員長 田中さんに お聞きします。この実行委員会はどういった思いで結成されたのでしょうか？



聞き手 上田 未来さん

田中 一番のきっかけは、400周年を起点にして、次の100年に今の大溝祭を継承していきたい、という思いです。報告書などで調べると、70〜80年前と現在の大溝祭では、いろいろな点で違いがあるようなのです。でも、それを知っている人は、もうほ

とにかく今、何かやらんとあかん誇りを守るために

林正浩 僕が小さい時の大溝祭は、もっと人がいっぱいいて賑やかでした。それが年々小さくなっていくことが、ただ寂しいです。よその祭りに人がたくさん集まっているのを見ても「大溝祭の方がすごいのに…」という思いがあります。



副委員長 林 正浩さん

とんどいません。このままでは、今後も祭りがどんどん簡素化されていくんじゃないかという危機感があります。「とにかく今、何かやらんとあかん」という気持ちです。



実行委員長 田中 康彦さん



大溝祭400周年記念事業実行委員会のメンバー ※敬称略



新春 2019年 大溝400年 すごろく

サイコロ付き

※コマは、ご自身で
ご準備ください

5 日吉神社

宝永元年(1704)
このころ、大溝祭に曳山
が登場した記録が残る
その後「すすき山」「殺
生石山」「役の行者」な
どの名のついた曳山も登
場する

寛文6年(1666)
大溝酒造仲間十六株が成
立する
【この後、醸造業が盛ん
となる もう一度
サイコロを振る】

4

寛文2年(1662)
大地震により、大溝領内で1022軒
が倒壊、死者約30人を出す
【市内各地でも甚大な
被害 一つ戻る】

6

延享4年(1747)
大溝城下で大火、
大溝6町170軒
が焼失する
【城下で甚大な
被害 一つ戻る】

昭和49年(1974)
昭和42年に着工し
た国鉄湖西線開通、
近江高島駅が開業

15

昭和16年(1941)
第四高等学校ボ
ート部員17人が萩
の浜沖で遭難する
66日間にわたる
捜索が行われる
【捜索が難航
1回休み】

3

正保3年(1646)
2代藩主・分部嘉治が領
内の上小川村で塾を開いて
いた中江与右衛門(藤樹)
と面会する

7

宝暦5年(1755)
現存する大溝陣屋
総門が建てられる
大溝陣屋は、藩主の居宅で
あると同時に政府でもあ
り、内縁の外側には武家屋
敷が配置された

大溝陣屋総門

大溝祭り曳山

18

平成8年(1996)
本町通りの古民家を活用した
「びれっぴ1号館」が開業
その後も新たな開業が続く

びれっぴ1号館

17

昭和58年(1983)
大溝祭が滋賀県選択無形
民俗文化財となる

14

昭和2年(1927)
大溝町立実科高等女学校が開校する
江若鉄道が大溝まで延長される
大溝駅が開業した12月25日には、滋賀県知
事も出席して、盛大な開通祝賀会が開かれる
【高島郡に初めて鉄道が通る 二つ進む】

江若鉄道大溝駅の開業

2

藤樹書院跡

8

天明5年(1785)
8代藩主・分部光実が郭内に藩校・脩身
堂を設立し、教導に中村徳勝を任命する
藩士の子弟は、8歳になると必ず入学
することが決められる
【勉強のため1回休み】

19

大溝の水辺景観

平成27年(2015)
「大溝の水辺景観」が
国の重要文化的景観に
選定される
同年、重要文化的景観を
活かしたまちづくりを
推進する「大溝の水辺
景観まちづくり協
議会」が設立、大
溝陣屋総門内に事
務局を置く

13

大正12年(1923)
大溝に湖西自動車株
式会社が設立され、
営業を開始する

12

明治2年(1869)
17代藩主・分部光貞
が版籍を奉還し、大溝
藩知事となる

9

寛政3年(1791)
光実、大俣約令を公布し
て藩政改革に着手する

【改革が進む、
一つ進む】

10

文政7年(1824)
大溝藩士・前田梅園が地誌
『鴻溝録』三巻を著す

11

近藤重蔵の墓

文政9年(1826)
10代藩主・分部光寧が
近藤重蔵の預かりを命じ
られ、翌年、重蔵が大溝
に引き移される
重蔵は藩士と親交を深
め、『江州本草』30巻
を著す

スタート

江戸時代、高島市勝野を拠点とした大溝藩の始まりは、元和5年(1619)に伊勢国上野(現在の三重県津市)を本拠としていた分部光信が、大溝藩2万石の領主に任じられたことから始まります。
その時から400年、城下町、交通の要衝、産業の拠点として発展を続けた大溝の歴史をすごろくで紹介いたします。

※このページを取り外してお楽しみください。

ゴール

※ぴったり合わないど
ゴールできません。

平成37年(2019) 祝・大溝藩開藩400年

5月3日(金)~4日(土)の大溝祭で、
400周年の記念イベントが開催される

キリトリせん

